

◆年頭のご挨拶 社団法人三重県歯科医師会会長 峰 正博	1
◆年頭所感 社団法人日本歯科医師会会長 大久保 満男	2
◆第14回三重県歯科保健大会特集	3
平成21年度医療管理学会（バイタルサインセミナー）	8
11月理事会報告	13
（歯科保健大会に向けて打合せ 公益法人制度改革はPT設置へ）	
平成21年度社保・国保審査委員会合同協議会	15
公益法人制度改革検討プロジェクトチーム	15
睦寿会総会・親睦会	16
源泉徴収票等の支払調書について	17
会員事業部門生涯研修コーナー（今月の生涯研修該当論文）	18
委員会便り	19
11月会務日誌	19
会員消息のページ	20
告知板	21
・平成21年度四日市歯科医師会障害者歯科学会開催のご案内	
・平成21年度四日市歯科医師会第2回学会開催のご案内	
・平成21年度第2回伊勢地区学術講演会のお知らせ	
・日本大学歯学部・松戸歯学部大学同窓会三重県支部学術講演会のご案内	
互助会各部・歯科国保組合の現況	23
新春随想（寅年生まれの先生方の寄稿）	24
編集後記	35

年頭のご挨拶

社団法人 三重県歯科医師会

会長 峰 正博



新年明けましておめでとうございます。平成22年が、三重県歯科医師会の先生方とそのご家族にとりまして、希望のかなう輝かしい年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

現在の日本、そして世界は、社会全体があらゆる面で思い切った変革に取り組まなければ、発展的で、円滑な機能を果たすことが困難な時代に突入したと考えています。リーマン・ショックから完全に立ち直れないまま、再びデフレ・スパイラルへの突入も懸念される状況を迎え、小売業者や中小企業は本当に大変であろうと推察します。私ども、歯科医業を営む側にとっても、数年来の医療費抑制策の影響を直接被り、10年にわたって歯科医療費だけが横ばい状態という大変厳しい中での医院経営を余儀なくされています。加えて、歯科医師需給問題と国家試験のあり方、歯科医師及びコ・デンタルの人材確保と資質の維持、公益法人制度改革等、早急に対応が求められる課題が山積しています。国レベルの問題は日本歯科医師会で、県レベルの問題は三重県歯科医師会で、それぞれに解決していかなければなりません。

昨年4月、日歯・県歯ともに、役員任期を従来の3年から2年に変更した新執行部をスタートさせました。任期変更は公益法人制度改革を見据えたものですが、併せてこの複雑で困難な時代に対応すべく、新たな取組みを進めています。日本歯科医師会では、「医科が生命の医療であるならば、歯科は生活の医療である」と位置づけ、特に高齢期の生活の質を支えるものとして歯科医療の価値を強調しています。執行部内に「国民歯科医療のあるべき姿委員会」を設置して、これからの歯科はどうあるべきかあらゆる局面から検討するとともに、それと平行して、歯科関係者以外の識者にご参加を戴いた「生きがいを支える国民歯科会議」で、生活者目線でのこれからの歯科のあり方を構築しているところであります。三重県歯科医師会では、喫緊の課題に対応すべく3つの臨時特別委員会を新執行部発足と同時に立ち上げました。間もなく機構改革臨時委員会からの答申が出る他、それぞれにその活動成果が形になりつつあります。

昨年8月の衆議院選挙では、政権交代が現実のものとなりました。これからの日本を考えれば、一つの刺激的な契機になると捉えたいと考えます。民主党を中心とした連立政権は、あらゆる事業を見直すという意気込みで22年度予算編成に臨んでいます。私たちの取組みも、政治手法や政策立案過程の変化に合わせていくことが求められます。どのような状況になっても的確に対応すべく、柔軟なスタンスで執行に臨む所存でございますので、宜しく願いいたします。

我が国の歯科医療が、患者さんにとっても、歯科医師にとっても有意義な方向に転換していくことを祈念し、新年のご挨拶といたします。

年頭所感

社団法人 日本歯科医師会

会長 大久保 満男



新年明けましておめでとうございます。会員諸先生方におかれましては、平成22年度の新たな年を健やかに迎えられましたこととお慶び申し上げます。

私が会長就任以来主張してきた「生きる力を支える歯科医療」という言葉は、超高齢社会という現実の中で、様々な場において多くの人々の共感を呼ぶものとなりました。

人間が他の動物と異なる一点は、自らの人生をどのように送るのか、つまり価値ある人生を可能な限り自らのものとしていたいという思いのために、自らに与えられた命をどのように使うのかということであり、そこに人間の生きる意味があるのだと私は思っています。

そして、われわれの営みとしての歯科医療は、それを支援することです。

歯科医療のミッションは、人々の日々の生きる力を支えることだというわれわれの主張がどこまで深く広がるか。そこにわれわれの未来がかかっていると思いつづけてきました。

われわれは今、大変に困難な状況の中にあります。それは、不況の結果として、失業者の増大が無保険者を増加させる危険性があり、さらに保険者の運営状況も苦しくなっていること。そして続いた医療費抑制策が医療提供者の困窮を招いていること。この三点を足せば、回答はたった一つであります。それは、わが国が世界に誇ってきたと言われていた国民皆保険制度の崩壊であります。

これは、人々が将来に対する希望を失い、さらに生きがいとは何か、幸福とは何かという人生の目標が立てられない時代を生きているということです。

たとえ書生論のようだとわれようと、人々の生きる意味や意義を根本から問い直すような議論が歯科から始まることを夢見て、それが初夢のように消えていくものでなく、実現することに全力を挙げていきたいと思えます。

昨年を振り返れば、新政権の誕生という、戦後の政治史に残る大きな出来事を経験した年でした。わが国の今後の方向性を示すという未来への政治の決断を、新政権がどのように示せるか、国民が最も注目しているところであり、また新年にあたっての明るい未来を期待するところでもあると思えます。

特にわれわれ医療関係者にとっては、与党民主党の医療政策に大きな関心を寄せています。予算編成の結果を見なければ評価することは不可能ですが、わが国の社会保障制度、とりわけ国民皆保険制度をより良きものとするためには、国民のみならず医療提供者にも明確に示す責務があり、それこそが政権交代の意義であると思えます。

今後の歯科医療に関しては、民主党の政策が明確になったときに、われわれの見解を示したいと思っています。ただレセプトオンライン義務化に対しては、新政権の決断によって、われわれの主張していた「手挙げ方式」に限りなく近い形で省令改正がなされたことに感謝しております。また仕分け作業に関しては、当初「廃止」項目であった8020推進特別事業費が、厚労省政務官の適切な反論により『見直し』となったことも、本運動の各地での充実にさらなる力を与えていただいたと感謝しております。

本号がお手元に届くときには、改定率も決定しているでしょうが、国民のための歯科医療の充実とそれを支える歯科診療所経営の安定化を、全力を挙げて、総力戦で、役員が心をひとつにして、新政権に求めてまいります。

筆をおくにあたり、今年一年が先生方にとって良き年であることを祈念し、また歯科医療の向上のために先生方とともに、その先頭に立って力を尽くすことをお約束し年頭のご挨拶といたします。

第14回 三重県歯科保健大会

幸せ育む健康家族—地域が支える8020—



11月8日(日)、三重県歯科保健大会が桑名市民会館を会場に盛大に開催された。県内の歯科保健関係者、「いい歯の8020コンクール」等で表彰された方々を始め多数の県民が集まり、メインテーマ「幸せ育む健康家族—地域が支える8020—」の下、表彰式や各種展示・体験コーナー、海原純子先生による特別講演等を通じて、歯と口の健康を改めて見直す一日を過ごした。

主催者挨拶

●三重県歯科医師会・峰 正博会長

桑名地区での三重県歯科保健大会は2回目になります。前回は合併前の長島町で、西暦2000年という節目に日本歯科医師会主催の全国歯科保健大会との併催として開催させて頂きました。これが一つの契機となり、三重県内での歯科保健への関心が高まりをみせてきたと感じています。

また、この日は8020推進財団が厚生労働省の認可を受けた日でもありました。私たち歯科医師が提唱してきた8020運動を、さらに国民的なものへと発展させるべく生まれたのがこの財団です。現在も日本初のアルペン銀メダリストで、IOC副会長でもある猪谷千春さんを名誉会長に迎えて、この運動をさらに大きく育てるべく努めています。

8020運動の甲斐あって、20年ほど前には5%に満たなかった8020達成者が、平成17年



歯科疾患実態調査では、21%にまで達しました。これはやはり、県民、国民を挙げて生活習慣の改善に取り組んで戴けるようになったからだと考えています。平成23年に予定されている次回調査では、さらに良い結果が出るのではないかと期待しています。

今日をまた新たなきっかけとして、より一層、歯や口の健康を守る気持ちを大切に、健やかな毎日を送って戴くことをお願いして、私の挨拶とさせていただきます。

第14回三重県歯科保健大会特集

●三重県・安田敏春副知事

本日は知事に代わってご挨拶いたします。まずは、長年にわたる歯科保健へのご功績により功労者表彰を受けられる方々、そして各種のコンクールで優秀な成績を収められて表彰される皆様方、それぞれにお祝いを申し上げます。

県民の皆様に「歯や口の健康づくり」を広く理解して戴き、明るく豊かな県民生活につなげることを目的として開催してきたこの大会も14回目となります。歯科保健は子供たちの健やかな成長のため、食育の推進という観点からも重要であり、また全身的な病気の予防という点でも、歯科保健の重要性が謳われています。県の健康づくり総合計画でも、歯科保健をしっかりと推し進めていきたいと思っています。

主催者挨拶の後、来賓として水谷 元桑名市長、加藤 隆木曾岬町長が挨拶を述べた。

表彰式では、歯の衛生週間各事業・いい歯の8020受賞者（右ページ）の他、三重県歯科保健文化賞を受賞した桑名市（右写真）の表彰が行われた。

また、歯科衛生功労者知事表彰も行われ、3名の会員が受賞した（11・12月号参照）。

（広報編集委員・森 誠 記）

●三重県教育委員会・向井正治教育長

病気の実態が見えにくい生活習慣病を子供たちに理解させていくのは非常に難しいことですが、一番分かりやすいのは、歯と口を見ることです。毎朝、顔を洗って鏡を見る時に、歯や口も観察できます。歯と口の健康教育を通じて、生活習慣病を学ぶことができればと考えています。

本県の児童生徒の虫歯保有率は、この10年間で、小・中学校、高校いずれも減少してはいますが、12歳児のDMF指数は依然として全国平均を上回っている状況です。県教育委員会としては、今後、学校における歯科保健活動を一層充実させ、子供が学校・家庭・地域で支えられ、健康な生活を送ることができるよう、健康教育を推進していきたいと考えています。



「くらべてみよう今と昔のおやつのかたさ」
桑名食生活改善推進連絡協議会



「口腔衛生と介護予防」
三重県歯科衛生士会桑名支部

第14回三重県歯科保健大会特集

母と子のよい歯のコンクール

最優秀

田川麻衣子さん・聖菜ちゃん

よい歯の児童生徒

最優秀

伊藤美音さん（写真左）

歯・口の健康に関する 図画・ポスターコンクール

最優秀

高松遼太郎くん

仲村藍里さん

高芝 楓さん

（写真右、左から）

歯の衛生週間各事業表彰



いい歯の8020表彰

三重県知事表彰



小川文雄さん



渡邊 孝さん



伊藤つたさん



小辻重一さん



小山孝三さん



保健師等による血圧測定、足型測定、超音波骨密度測定、体脂肪測定

特別講演「きれいへの医学」



講師：海原純子先生

海原純子先生は東京慈恵会医科大学を卒業後、1984年に日本で初めての女性クリニックを開設し、女性の心と体の問題を中心に診療に取り組まれました。現在は白鷗大学教授、ハーバード大学客員研究員、厚生労働省の健康大使として活躍されています。

最近、新聞やテレビなどで「年を取っても元気で若々しくいるにはどうすればいいか？」といった内容の特集をよく目にします。一体、年より若く見える人と、年より老けて見える人の差は何なのでしょう。医学的には「美容貯金の差ではないか」と言われています。貯金を上手に使えば目減りしませんが、下手に使うと、どんどん使い果たして、年よりも老けて見られてしまいます。

皆さんが美容貯金をキープする生活をしているかどうかを知るための8つのチェック項目があります。①たばこを吸わない、②過度の飲酒をしない、③毎日朝食を食べている、④毎日6時間位は睡眠をとっている、⑤毎日の労働時間は9時間以下である、⑥運動やスポーツを定期的に行っている、⑦食事をするとき栄養のバランスを考えている、⑧自分で上手にストレスを乗り切っている方だと思う。このうち、当てはまった数が0～4個だと不良、5～6個でまあまあ、7～8個なら良好と言えます。

美容貯金をすり減らす要素は3つあるとも言われています。一つ目はたばこ、二つ目は過度な飲酒、三つ目がストレスです。たばこや過度な飲酒が健康に影響を及ぼすことはある程度理解できる

と思いますが、どうしてストレスが美容貯金をすり減らしてしまうのかご存じでしょうか。

私たちがストレス状態になると、自律神経の交感神経が緊張し、血圧が上がり、いろいろな負担を臓器に与えてしまいます。アドレナリンやグルカゴンといったホルモンが出てしまうことが美容貯金をすり減らす原因になってしまうのです。また、ストレス状態になると活性酸素が産生され組織にダメージを与えます。最近では、免疫機能に変化が起きるとも言われています。私たちの免疫機能を司っている細胞に、リンパ球の一種であるNK細胞があります。NK細胞はインフルエンザ等のウイルスに感染した細胞と戦い、体内でウイルスの増殖を防ぐ働きがあります。ガン細胞と戦う働きもあるとも言われています。ストレス状態で気持ちがめげると、このNK細胞が減ってしまいます。でも、皆さんが日々できることで、NK細胞を増やしたり、活性を高めたりすることが可能であることが最近分かってきました。幸せな気持ちになると免疫機能が上がり、怒ったり、落ち込んだりすると免疫機能が下がってしまうのです。いい気分で過ごすことは体にとっても、心にとっても美容貯金を増やす原動力になるのです。

第14回三重県歯科保健大会特集

私は1984年に女性クリニックを開設し診療を行ってきましたが、とても変わった症例を経験したことがあります。その患者さんは体の左半分の激痛を訴えていました。頭も痛いし、肩も首も痛くてしびれている。大学病院では脳内病変を疑われ、精密検査を受けましたが何も異常は見つかりません。病院で出された薬も飲んではいましたが症状が一向に良くならないために、私のクリニックを受診されたのです。時間をかけて、その方のカウンセリングをじっくり行っていくと、会社の席の左隣にすごく嫌いな人がいることが分かりました。それが痛みの原因になっていたのです。

ストレス状態になりやすい人、即ち「美容貯金をすり減らしやすいタイプの人」というのがあります。

一つはA型気質です。これは血液型のA型という意味ではなく、Aggressiveの頭文字をとってA型と呼ばれているものです。競争が大好きで上昇志向が強い、何にでも首を突っ込む。早口・早食いで、歩くのも速い、夜遅くまで仕事することに喜びを感じるような攻撃型の性格です。このタイプはストレスに気付きにくく、A型でない人に比べて、2.5倍以上も心筋梗塞や狭心症にかかる率が高くなるとされています。

もう一つは「いい人」タイプです。「いい人」は、そのイメージに縛られ、みんなの期待に応えようとしてしまいます。周りとなるべく波風を立てないようにしようとして、頼まれたことを断れず、感情表現も抑えがちです。こうした「いい人」は「うつ」になりやすく、ストレスによる影響が直接、体に出ることもあります。

では、これらの性格の方はどのようにすれば美容貯金を減らさないようにできるのでしょうか。先程の話に戻りますが、良い気分になればNK細胞の数は5分以内に増加するという実験結果が出ています。

そこで私からの処方箋です。夜寝る前に10分位、自分の好きな音楽を聴いたり、写真を見たりする時間を作りましょう。毎日お風呂で体を洗うように、心を洗う時間を作ることが必要です。

美容貯金を減らさないために「使わない方が良い言葉」もあります。「どうせ」「だって」「私なんて」。こうしたレッテルを貼る言葉は避けましょう。

泣いたり笑ったり、感情を素直に表現することも大切です。以前、アフリカのカーボヴェルデという国に写真を撮りに行ったことがあります。日本とはあまり交流のない国で、物資もなく、とても貧しい国ですが、その国の女性は表情が豊かでとてもきれいでした。病気になっても治療する薬もないため平均寿命は40歳位なのですが、その国の人たちは先の不安などは考えず、今生きていることの幸せを噛みしめて生きていました。私はそれこそがきれいの源だと思いました。

もう一つの私からの提案は「幸せのアップーリミット」を伸ばすことです。幸せのアップーリミットとは、「嬉しいことがあった時に、どれ位の時間、幸せを感じていられるか」ということです。あるアメリカの精神学者は、幸せのアップーリミットが長ければ長い程、「うつ」になりにくいと言っています。

社会では他人からの評価が一つのものさしになっていますが、別のものさしを持つことも大切です。人から受ける評価や結果よりも、プロセスに価値を感じる趣味や娯楽を持って下さい。若い時にしかできないことはたくさんありますが、年を取らないとできないことはもっとたくさんある。若い時にできなかったけれど今ならできることを、人と競ったり、人に褒められたりする必要がない形で、結果を気にせず、プロセスに価値を感じながら行うことができるようになれば、より深く豊かな人生が送れるでしょう。

(広報編集委員・亀井貴彦 記)

日本歯科麻酔学会と共催のセミナー 総合討論で活発な質疑応答

毎年恒例の医療管理学会、今年度は日本歯科麻酔学会との共催による「バイタルサインセミナー」が企画された。前半は、日本歯科大学生命歯学部歯科麻酔学講座教授である砂田勝久先生の講演が行われ、ユニークな演題のもと、軽妙な語り口で血圧、脈拍等のバイタルサインの異常とその対応方法が明快に示された。後半の総合討論では、バイタルサインセミナーの発案者であり、昨年の医療管理学会でも講演して戴いた望月 亮先生（日本



歯科麻酔学会地域医療担当理事／静岡県開業）が座長を務め、演者の砂田先生、三重県歯会員の福田幸弘先生（伊勢度会支部）が壇上に並んで、受講者を交えた質疑応答が行われた。会場からは、素朴な疑問から専門的な内容まで様々な質問が出され、それに対して3人の先生が丁寧に回答。討論を通じて、術中のモニタリングには、安全な歯科医療を提供という目的に加え、歯科医師が患者の全身に配慮して医療を提供しているというスタンスを示す意義もあることが強調された。

講演

「大仁多・もにた・モニタ？」

日本歯科大学 生命歯学部 歯科麻酔学講座・砂田勝久教授

● 血圧の異常とその対応

＝平均血圧を50～150mmHgに保つ

医療用のモニターの多くでは、最高血圧・最低血圧に加え平均血圧が自動で表示され、歯科治療継続の可否の目安にすることができる。平均血圧

が50～150mmHgの間であれば、脳血流はほぼ一定にコントロールされるからである。

$$\text{平均血圧} = \text{最低血圧} + \frac{\text{最高血圧} - \text{最低血圧}}{3}$$

平均血圧が150mmHgを超えると脳血流が増加する。血圧の上昇だけなら特別な処置の必要はなく、座位を取らせることで対応可能なことが多い（偶発症発生時には水平位を取るべきことが多いが、この場合は例外）。血圧上昇に加え頭痛・嘔吐を伴う場合には降圧剤の投与を考慮する。ニカルジピンの静脈注射を行うと良いとされているが、経験が乏しいと難しいので、**アダラート**（ニフェジピン）を利用する方法が推奨できる。5mgのカプセルをコップ一杯の水に溶かし、数分毎に血圧測定しながら一口ずつ飲ませる。

血圧上昇で注意すべきは脳卒中の発症である。脳卒中は血管が破れる脳出血と血管が詰まる脳梗塞に大別されるが、心疾患が原因で発症する場合もある。

脳卒中には3つの特徴的なサインがある。①顔面神経麻痺、②上肢の脱力、③言語障害である。このうち一つが認められれば脳卒中の確率が72%、三つ揃うと85%とされている。発症早期の治療が重要であるため、速やかに救急車を呼び適切な施設へ搬送するべきである。

血圧上昇の原因と予防は、以下のように整理できる。

- ① 治療に対する不安や恐怖⇒笑気等の鎮静法
- ② 治療に対する痛み⇒麻酔手技を磨く
- ③ 循環器疾患の合併⇒リスク症例を見極める

リスク症例としては動脈硬化のある患者が挙げられる。高血圧症・肥満・喫煙習慣・高コレステロール血症・糖尿病患者は動脈硬化を合併していることが多い。

平均血圧が50mmHgを下回ると、脳への酸素供給が不足し、気分不良、さらには意識障害を引き起こす可能性がある。対処法としては脳に酸素を届けるため頭を低くし、酸素を投与する。意識が消失した場合は**エフェドリン**1/2筒の筋肉注射が推奨できる。筋肉注射を行う部位は、上腕外側上部（肩峰突起から5cm下方）、臀部上外側、大腿部前外側である。



血圧低下の原因と予防は、前述の血圧上昇の原因と予防の①②と共通であるが、血圧低下の場合に注意すべきアナフィラキシーは予測困難であるため、その対応を身につけることが重要になる。平均血圧が50mmHgを下回り、咳と蕁麻疹の症状があればアナフィラキシーと判断し、アドレナリンを投与することが原則になる。最近、普及している**エピペン**が使いやすい。講習を受ける必要があり、コストも高いが有用である。

血圧測定の際には、マンシェットを正しい位置に合わせるとともに、指2本が入る程度の強さで巻くようにする。きつ過ぎると血圧は低く、ゆる過ぎると高く出てしまう。下着とシャツ程度なら着衣のままでも測定は可能である。

● 脈拍の異常と対応=50~100回に保つ

脈拍が100回/分を超えると心臓の酸素需給バランスが崩れ、酸素不足に陥るので、歯科治療を中断して休憩を取り、必要に応じて酸素を投与する。逆に脈拍が50回/分を切った場合は脳血流が減少し、脳への酸素供給が不足するので、頭を低くし、必要に応じて酸素を投与。必要に応じて**アトロピン**の筋注を行う。

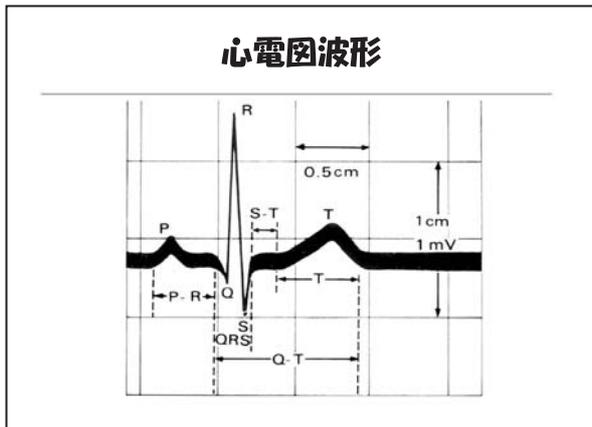
脈を診ることを習慣づけることも推奨される。手首（橈骨動脈）で脈が触れなければ最高血圧は80mmHg以下、上腕動脈が触れなければ70mmHg以下、頸動脈が触れなければ60mmHg以下と考えればよい。

● RPPと心電図の異常と対応=狭心症・心筋梗塞患者で12,000、健常者で20,000以下を保つ

RPP (rate-pressure product) とは最高血圧×心拍数の値で、心臓が必要とする酸素量を表す。

RPPが20,000を超え胸痛を訴えたら狭心症か心筋梗塞が疑われる。狭心症は心筋の酸素が一時的に不足した状態であり、数秒から数分の胸痛を伴う。心筋梗塞は酸素不足によって心筋の一部が壊死した状態であり、この場合の胸痛は死の恐怖を連想させるほど激しくかつ長時間続く。

狭心症・心筋梗塞が疑われたら心電図による診断を行うことが望ましい。緊急時のモニターとして用いる場合は、左右の鎖骨の上と脇腹の3か所に電極を装着するだけで十分である。心電図波形のST部分の変化により、心筋虚血を知ることができる。狭心症・心筋梗塞と診断された場合は、酸素投与、バファリン（アスピリン）の経口投与（＝噛み砕く）、ニトロペンの舌下投与等を行う。



高血圧、脳卒中、狭心症・心筋梗塞等では血栓を防ぐためにアスピリン、ワルファリンが投薬されていることが多い。こうした患者に抜歯手術等の観血的処置を行う場合、かつては止血を優先して服用を中止することが多かったが、最近の知見では抗血栓薬中止のリスクが重視されるようになっており、局所の止血処置を行うことを前提に、アスピリンは継続したまま、ワルファリンの場合もINR(International normalized ratio) ≤ 2.5 を保つよう継続したまま、歯科治療を行うことが推奨されている。内科等へ対診する場合は、抗血栓薬を中止することなく処置が可能であることを示したうえで、助言を求めると良い。

循環器疾患のある患者に使用できる局所麻酔量の目安は以下のとおりである。

- ① アドレナリン含有のカートリッジ1.8mlは、自覚症状（息切れ、頭痛等）がなければ2本まで、自覚症状があるか β 遮断薬（インデラル、テノーミン、カルビスケン等）を服用している場合は1本まで。
- ② シタネストカートリッジは3本まで。ただし不整脈患者ではこれがファーストチョイスとなる。

● 酸素飽和度の異常と対応＝95%以上を保つ

パルスオキシメーターの開発により、指先にクリップを取り付ける簡便な装置で酸素飽和度(SpO₂)が測定できるようになった。血流不良や体動があると正確に測定できないが、酸素飽和度だけでなく脈波を診ることで判断が可能である。パルスオキシメーターは脈波により循環のモニターとしても活用できる。ただし、呼吸停止から飽和度低下までは1分程度の時間がかかることには注意が必要である。酸素飽和度が95%を切った場合には、気道確保（頭部後屈顎先挙上法、下顎挙上法）と酸素投与を行う。

まとめ

平均血圧で脳の酸素量をモニターする
脈拍とRPPで心臓の酸素量をモニターする
酸素飽和度で血中の酸素量をモニターする

異常が起きたら…

まず酸素とモニター

平均血圧 > 150mmHg	アダラート経口
平均血圧 < 50mmHg	エフェドリン筋注
平均血圧 < 50mmHg	エピペン筋注
・咳・蕁麻疹	
心拍数 < 50回/分	アトロピン筋注
胸痛・RPP > 20,000	バファリン経口
	ニトロペン舌下

総合討論会

日本歯科大学生命歯学部 歯科麻酔学講座教授 砂田勝久先生
 日本歯科麻酔学会 地域医療担当理事 望月 亮先生（座長）
 日本歯科麻酔学会認定医・玉城町開業 福田幸弘先生

講演の後、バイタルサインセミナーの特色の一つである総合討論会が行われた。この種の講演会では質疑応答の時間枠が限られているため、一般の参加者はなかなか質問したり意見を述べたりすることができず、消化不良の感想を抱くことも少なくない。バイタルサインセミナーでは、講演終了後にこうしたディスカッションの時間を設け、幅広くフロアからの意見を聴取し、学会がそれに答える場を設定している。この日のセミナーでも、日本歯科麻酔学会・望月理事が座長として討論会をリード、聴衆の意見や質問を巧みに引き出し、壇上の三者がそれぞれに丁寧に答える形で、活発な質疑応答が行われた。



—— 偶発症等を予防する対策として「麻酔の手技を磨く」ことが挙げられたが、具体的にはどのような方法があるか聴きたい。

望月 効きにくいという予測をすることが大事。一度、疼痛閾値を下げてしまうとダメなので、自分は歯髄腔内麻酔もためらわない。

砂田 鎮静法の併用を勧めるが、それ以前の快適な環境作りも大切。表面麻酔や電動注射器を用いてゆっくり薬液を注入することも有効である。伝達麻酔については日歯生涯研修でビデオを製作中なので参照されたい。

望月 福田先生は局所麻酔では、シタネストを頻用されるそうだが、どうやって効かせているのか。

福田 私の臨床では9割以上のケースでシタネストがファーストチョイス。シタネスト使用時の偶発症は経験したことがない。効きにくい薬剤であることを分かったうえで、それを効かせるテクニック（歯根膜麻酔等）を使って対応している。上顎前歯等では一度目は浅く半量程度、

時間をおいて深いところまで残りを注入する2回法を用いる。

望月 局所麻酔を奏効させるには十分な時間をかけることが大切。効きにくいと予測した場合は処置を始めるまでに時間を取る。モニタリングを実施していると、頻脈によりその効果を測ることもできる。

—— 麻酔薬中のアドレナリンよりも、内因的に分泌されるアドレナリンの影響の方が大きいので、有病者に使用しても構わないと聞いたことがあるのだが、どうか。

望月 歯科用キシロカインカートリッジの添付文書には「高血圧、動脈硬化、心不全、甲状腺機能亢進、糖尿病のある患者及び血管攣縮の既往のある患者」への使用は原則禁忌と記載されている。かつては「禁忌」だったものを、歯科麻酔学会等が働き掛けてようやく「原則禁忌」になった。やはり全身的な影響は考慮しておくべきだ。

砂田 内因性アドレナリンの方が影響が大きいと

しても、外因性＝局麻剤中のアドレナリンが全身に影響しないわけではない。危険性を過小評価すべきではない。

— リドカインは抗不整脈薬としても用いられるものだが。

望月 抗不整脈薬としては静脈注射で使う。歯科用局所麻酔薬の口腔内注射では、口腔内の静脈から全身への有効な移行は期待できない。

— 患者が術中不慮の事態に陥った場合、モニター設備や救急薬剤が常備されていないことが法的な責任を問われる可能性はあるか。

福田 基本的には一次救命処置（BLS：Basic Life Support）が行われていれば法的責任を問われることはないと考える。救急薬剤の使用も緊急避難行為として認められているものであり、備えられていなかったこと、使わなかったことが責められるものではない。

望月 自院での緊急事態においても、歯科医師に求められているのは、まず市民レベルの救命救急義務を果たすことであると考えている。薬を使わなかったことよりも誤った使用をした方が責任を問われる可能性はある。

福田 県内でもAEDやBLSの講習を行っている。正しい一次救命処置を身につけることが重要。

— 6か月を超える陳旧性の狭心症・心筋梗塞患者の場合、RPPが12,000を超えた場合は歯科治療を中止すべきなのか。

砂田 ケース・バイ・ケースで状況は異なるので、あくまでも目安として考えて戴きたい。

— 他院で非ステロイド性抗炎症薬等が投与されている場合等、INR値にどの程度影響するのか。

砂田 INRはワルファリンの薬理効果を測定する目安なので、INRへの影響は分からないが、ある程度の影響がでる可能性はあると思う。

望月 INRは変動も大きいので厳密には歯科治療を行う当日の値をみなければ意味がないという意見もある。INRの値よりも、医科と歯科、あるいは後方支援をお願いする病院歯科との連携がしっかりしていることが大切である。

— 救急薬剤を使用せざるを得なかった場合、その内容、使用料等を正確に記録しておくことが大切ではないか。

望月 おっしゃるとおりである。何か起きた時に一番大切なのは、時系列に沿った記録。主観的なものでは不十分で、客観的な記録が必要。患者の状態を客観的に記録するために、モニタリングの意義がある。

福田 正確な記録を取るためには、日頃から診療所内でシミュレーションを行うべき。誰が何をするのかという分担を決めると同時に、全員がどの作業もできるスキルを身につけておく。モニタリングもスタッフ教育ができていなければ実施できない。

— 一般臨床医がモニタリングに積極的になれないのは、局所麻酔や抜歯の頻度に対して、重大な事故が発生することは非常に少ないという認識があるせいではないか。ルーティンでモニタリングを行う意義はあるのか。

望月 私もすべての患者にモニタリングを実施しているわけではない。有病者であるという自覚のある患者に対してモニタリングを行うことは「私（＝歯科医師）はあなた（＝患者）の全身状態に気を配りながら診療している」という主張になる。

福田 全員にモニタリングを実施することは難しいが、初診の患者については脈拍等を確認することが多い。それがきっかけになって全身的な問題が明らかになることもある。

望月 モニタリングを行って患者からクレームを受けたことはない。臨床医として歯科麻酔専門医であることを明示しているわけではないが、その必要性をきちんと説明したうえでモニタリングを実施する姿勢は、患者からの信頼を得ることにつながっていると思う。患者たちが「歯科医師は私たちの身体を守ってくれるんだ」と感じてくれば、歯科医師に対する社会的評価も上がってくるはずだ。歯科医療全体のためにも、歯科麻酔学をもっと活用してほしい。

（情報処理担当常務理事・太田賢志 記）

11月 理事会 報告

平成21年11月5日（木）
三重県歯科医師会館

歯科保健大会に向けて打合せ 公益法人制度改革はPT設置へ

会長挨拶

県内でも新型インフルエンザで休校になるところが多くなってきた。ワクチン接種もそろそろ始まってくるが、インフルエンザに限らず体調管理には留意して戴きたい。

新しい政権の動きが少しずつ見えてきた。自民党政権でできなかったことを実現することで、良い方向に向かってくれればと思う。11月8日(日)は、本会の最大のイベントである三重県歯科保健大会を開催する。十分な打合せを行ってほしい。



報告事項

1. 会長報告

第17回医療経済実態調査の結果が出た。これが診療報酬改定にどう影響するか。民主党政権は、医科に関しては病院の勤務医への配分を大きくする方向のようだ。歯科の評価がもともと低いということを理解してくれていれば、若干の期待はできるかもしれない。

中医協、社会保障審議会とも委員の入れ替えがあった。歯科関係委員は任期中なので入れ替えはなかったが、全体的には大きく様変わりした。自民党時代とは異なる、斬新な政策が出てくることを期待したい。従来、歯科医師会は自民党に対して働きかけを行ってきたが、新たな政権与党たる民主党にも積極的に政策提言を出していきたい。

診療報酬に係る課税特別措置について、日歯から存続を働きかけるよう要請があった。事業税の非課税措置は、租税特別措置法とともに自民党政権自体から継続的な働きかけがあって維持されてきたものだ。特措法は万が一廃止されても対応は可能かと思うが、社会保険診療報酬に対する事業税の特例措置が廃止されるのは、医療機関にとってダメージが大き過ぎる。なんとかこれを阻止していく必要があると考えている。

2. 一般会務報告

- ・ 無料職業紹介事業報告（累計）：求職5件、求人68件、紹介1件、まとまったもの0件
- ・ 11月、12月行事予定

3. 各委員会事業報告

■社会保障部門

[社会保障]

- ・ 伊勢度会支部社保講習会 (10/15)
- ・ 松阪支部社保講習会 (10/29)

◆会員事業部門

[医療管理]

- ・ 歯科相談 5 件
- ・ 東海信越地区医療管理担当者協議会 (10/18)
- ・ 名古屋国税局管内税務指導者協議会 (10/22)
- ・ 職業紹介所「みえ歯科技工士人材バンク」開設について報告
- ・ 永年勤続表彰についての協議。

[学 術]

- ・ 日本歯科医師会雑誌12月号「都道府県学術メッセージ」欄掲載記事について報告
- ・ 平成20・21年度日歯生涯研修事業統計資料(3期分)について報告
- ・ 平成22年度日歯生涯研修セミナー、日本歯科医学会平成22年度学術講演会の共催について協議。

[福祉厚生]

- ・ 互助会第1部、第3部の支給について承認。
- ・ 台風18号による被害状況について報告、協議。

●地域保健部門

[公衆衛生]

- ・ 第14回三重県歯科保健大会実行委員会(第3回)(10/15)

- ・ 病院歯科における口腔ケア実践研修事前講習(10/22)

- ・ 「みえ歯ートネット」への参加登録アンケートについて協議。

[障害者治療]

- ・ 第26回日本障害者歯科学会総会及び学術集会(10/31、11/1)について報告
- ・ 障害者歯科センター10月分診療実績報告

▲情報処理部門

[広報編集]

- ・ 三重テレビ『歯チカラ』(11/8 放映予定)について試写及び打合せの報告
- ・ 中日新聞「歯のオアシス Part 2」掲載：10/10「歯周病②」・10/25「クラウン」
- ・ 「いい歯の日」企画・全国地方紙広告掲載(11/7 掲載予定)について報告

[企画調査]

- ・ 平成21年度最新歯科医療実態調査中間報告
- ・ 平成22年度東海信越地区歯科医師会役員連絡協議会シンポジウム企画について協議。

★臨時委員会

[機構改革臨時委員会]

- ・ 第2回機構改革委員会(10/22)
プロジェクトチームの設置について

[その他の報告]

- ・ 平成21年度第2回東海信越地区役員連絡協議会(10/17)について報告
- ・ 鈴鹿警察署「安全安心まちづくり講演会」について報告

承認事項

- ・ 会員数：一般696名、勤務23名、終身129名、特別3名、法人5、合計856名。

協議事項

1. 平成22年度事業計画について
2. 公益法人制度改革について
 - ・ プロジェクトチームの設置並びに編成
3. 第14回三重県歯科保健大会について
4. 歯科往診用車両の駐車禁止除外についての要望書の提出について



■ 社保・国保 審査委員会 合同協議会

Social Security Section

平成21年度社保・国保審査委員会合同協議会

平成21年11月19日（木）

三重県医師会館

レセプト電算化後も 適正で公平な審査を要望

社保・国保両審査委員会による合同協議会が開催され、三重県歯から田所副会長、羽根常務理事、社保担当の小林理事、大杉理事、辻(孝)理事が出席した。三重県健康福祉部・亀井総括室長、三重県医師会・中島会長に続き、田所副会長も挨拶に立ち、レセプト電算化が進んでも適正かつ公平な審査が行われるよう求めた。その後の歯科分科会には、それぞれ審査委員の立場で協議に参加し、社保・国保双方より提出された議題について歯科の審査委員全員で協議を行った。



西岡歯科部会長（国保・左）と
浜瀬主任審査委員（社保・右）

機構改革 臨時委員会

公益法人制度改革検討プロジェクトチーム

平成21年12月3日（木）

三重県歯科医師会館

公益法人への移行の可能性を 把握するための検討に着手

機構改革委員会の意向を受けて設置された公益法人制度改革検討プロジェクトチームの初会合が開催された。サカエ税理士法人・遠島敏行代表社員を迎え、副会長、専務理事、常務理事らが公益法人への移行の可能性を正確に把握するための検討を行う。この日はコンサルティング内容についての説明を受け、プロジェクトチームの業務内容について確認。当面は22年度事業計画の策定と並行して、新新公益法人会計基準への移行を想定した事業のグルーピング作業を行っていく。



◆睦寿会

Member Business Section

睦寿会総会・親睦会

平成21年11月23日（月）
ホテルグリーンパーク津**34回目の睦寿会、和やかに開催**

昭和58年に終身会員の集いとして始まった睦寿会、第34回となる総会と親睦会が開かれました。本年度は9名が新たに睦寿会に加わり、現在会員数131名を数えますが、この日は10名の会員が出席しての開催となりました。

総会の冒頭、挨拶に立った峰会長は、終身会員の先生方のこれまでのご活躍を労うとともに、今年度の役員改選及び役員任期の変更や機構改革委員会で検討中の公益法人制度改革への対応等につ

いて報告しました。

田中勇雄顧問（桑員）による挨拶の後、今年度10名の物故会員に対する黙祷と、本日の出席者23名の紹介があり、出席者を代表して加藤千春世話人（四日市）から睦寿会開催について謝意が述べられました。

その後、芝田専務理事から、年末から来年にかけての県歯事業の日程を含めた会務報告があり、今後の睦寿会の運営について協議されました。



田中勇雄顧問（桑員）



加藤千春世話人（四日市）

総会終了後、同会場にて武田福祉厚生担当理事の司会のもと、懇親会が開かれました。橋本副会長の開宴挨拶、中藤監事の乾杯の後、和やかに懇談。出席された終身会員の先生方からも各自近況報告を戴き、その元気なお姿に役員らも勇気づけられた思いでした。食事とお酒を楽しみながら会話の弾んだ2時間、最後に田所副会長が閉会の辞を述べお開きとなりました。

（福祉厚生委員・伊藤裕継 記）



医 療 管 理

源泉徴収票等の支払調書について

顧問税理士 植村公順

Q：明けましておめでとうございます。税務署から毎年1月末までに給与所得の源泉徴収票等の支払調書の提出を求められますが、この支払調書について教えてください。

A：支払調書とは、所得税、法人税、相続税、その他の内国税の適正な課税の確保を図るために、課税当局（税務署等）が法律に基づいて支払者に提出を求めている取引に係る「支払明細書等（法定支払調書）」を言います。（所得税法第225条～228条ほか）

支払者は毎年1月末までに、支払調書を税務署等に提出するとともに、支払いを受けた者にも支払通知書を送付することになっています。この期限は、所得税の確定申告時期に、支払いを受けた者が支払通知書により所得金額や所得税額の計算ができるよう定められています。このほか、支払確定の都度、提出・送付する支払調書もあります。

税務署では、提出された支払調書をコンピューターに入力して名寄せを行い、確定申告書と照合して申告漏れを抽出し、毎年7月以降の税務調査に活用しています。このため、税務署は支払調書の未提出者に対して督促や調査を行っています。

① 1月末までに「給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表」とともに提出する支払調書は次のとおりです。

法定支払調書の名称	申告する所得の種類
給与所得の源泉徴収票（市町村へは給与支払報告書）	給与所得
退職所得の源泉徴収票・特別徴収票（市県民税）	退職所得
公的年金等源泉徴収票	雑所得
報酬・料金、契約及び賞金の支払調書	事業、一時、雑所得
不動産の使用料等の支払調書 （法人・個人不動産業者が支払うものに限る）	不動産所得
不動産等の売買または貸付の斡旋手数料の支払調書 （法人・個人不動産業者が支払うものに限る）	譲渡、事業、雑所得

② 支払確定の都度、提出する主な支払調書は次のとおりです。

法定支払調書の名称	申告する所得の種類
配当、剰余金の分配、基金利息の支払調書	配当所得
投資信託または特定受益証券発行信託収益の分配の支払調書	配当所得
オープン型証券投資信託収益の分配の支払調書	配当所得
匿名組合契約等の利益の分配の支払調書	原則として雑所得
生命保険契約等の一時金の支払調書	一時所得
生命保険契約等または損害保険契約等の年金の支払調書	雑所得
損害保険契約等の満期返戻金等の支払調書	一時所得
保険代理報酬の支払調書	事業、雑所得
株式等の譲渡の対価の支払調書	株式の譲渡所得
特定口座年間取引報告書（上場株式）	株式の譲渡所得
先物取引に関する調書（外国為替証拠金取引（FX）等）	原則として雑所得

以上のほかにも、①源泉分離課税の対象である利子等、無記名割引債償還金、特定振替国債等償還金などの支払調書、②相続財産を把握する支払調書、③国外送金等調書などがあります。支払通知書に基づき正しい所得税の確定申告をしましょう。

会員事業部門生涯研修コーナー

●今月の生涯研修該当論文

日本歯科医師会雑誌

<VOL. 62 No.9 12月号>

研修コード 0501

クリニカル「歯周病に対する経口抗菌薬は有効なのか？－臨床薬理学者からの見解－」

王 宝禮（松本歯科大学歯科薬理学講座・附属病院口腔内科教授）

研修コード 0302

サイエンス「エビデンスに基づく全身の健康と口腔との関係」

花田信弘（鶴見大学歯学部探索歯学講座教授）

研修コード 0304

クリニカル「食物による窒息事故－歯科医師としての知識・意識－」

向井美恵（昭和大学歯学部口腔衛生学教授・口腔ケアセンター長〔併任〕）

研修コード 0199

FORUM「在宅版NSTとしての訪問歯科診療における食支援」

小金澤一美（医療法人白櫻会小金沢歯科診療所理事長）

平成21年7月診療分歯科診療報酬状況（三重県）

		社 会 保 険			国 民 保 険		
		1 件 当 日 数	1 日 当 点 数	1 件 当 点 数	1 件 当 日 数	1 日 当 点 数	1 件 当 点 数
一 般	本 人	2.0	602.2	1,211.5	2.1	606.9	1,279.4
	家 族	1.8	541.6	956.9			
後期高齢者医療		—	—	—	2.2	664.9	1,480.0

委員会便り

広 報 編 集

- 日 時：平成21年11月12日(木)午前10時～12時
場 所：三重県歯科医師会館 3 F 研修室
協議事項：①『三歯会報』三重県歯科保健大会記事について
②会議取材について
③『歯チカラ』の費用対効果の検証について
④平成21年度『三歯会報』の今後の予定について
⑤次年度以降の『三歯会報』の発行頻度について
⑥今後の一般向け広報活動について

公 衆 衛 生

- 日 時：平成21年11月26日(木)
午後12時～2時40分
場 所：三重県歯科医師会館
協議事項：①フッ化物啓発冊子の作成について
②母子歯科保健啓発チラシの作成について

障害者歯科センター

- 11月障害者歯科センター診療状況
診 療 日：8日
診療担当者：常勤1名、非常勤6名（内訳・会員5名、大学1名）
延患者数：148名

11月会務日誌

- | | |
|--|---|
| 11. 1 訪問歯科診療研修会開催 | 務理事出席 |
| 5 常務理事会、理事会開催 | 15 三重県立公衆衛生学院推薦入学試験に田所副会長出席 |
| 7 東海信越地区歯科医師会専務理事連絡協議会が岐阜県にて開催され芝田専務理事出席 | 16 三重県後発医薬品適正使用協議会に齋藤常務理事出席 |
| 8 第14回三重県歯科保健大会を桑名市にて開催 | 18 都道府県歯科医師会専務理事連絡協議会に芝田専務理事出席 |
| 9 三重県後期高齢者医療広域連合運営協議会に田所副会長出席 | 19 尾鷲地区地域8020運動推進協議会、紀南地区地域8020運動推進協議会、病院歯科における口腔ケア実践研修、医療管理学会事前打合せ開催
日本歯科医師会第10回理事会に峰会長出席 |
| 12 広報編集委員会、特定社保講習会、かむかむクッキングコンクール1次審査、レセプト電算化・オンライン化対策臨時小委員会開催 | 亀岡市の独創性ある事業等の視察に熊谷理事出席 |
| 14 第8回警察歯科医会全国大会が新潟県にて開催され峰会長、芝田専務理事、陣田会員出席 | 21 第30回全国歯科保健大会が高知県にて開催され峰会長、齋藤常務理事、中井常務理事出席 |
| 14・15 岐阜県歯科医師会社会歯科学研究会秋期研修会が岐阜県にて開催され中井常 | |

- 22 東海北陸厚生局管内歯科医師会担当者連絡協議会が愛知県にて開催され田所副会長、芝田専務理事、羽根常務理事出席
健康日本21推進志摩大会に中井常務理事出席
第9回マウスガードカンファレンス並びにスポーツ歯科医学会認定：マウスガード製作講習会が大阪府にて開催され熊谷理事出席
- 23 睦寿会親睦会開催

- 25 尾鷲支部社保講習会に羽根常務理事、小林理事出席
- 26 公衆衛生委員会開催
第53回三重県学校保健安全研究大会に中井常務理事、杉原理事、公衆衛生委員出席
- 27 みえ摂食・嚥下リハビリテーション学術集会と世話人会に中井常務理事出席
- 28 日本子ども虐待防止学会・第15回学術集会埼玉大会が埼玉県にて開催され熊谷理事出席

会 員 消 息 の ペ ー ジ

新入会員紹介



鈴木章夫先生 (12. 3 付)
 (診)四日市市川北 1-12-15
 マサミ歯科クリニック
 富田西診療所
 電 話 059-364-2134
 F A X 同 上
 (住)四日市市坂部が丘 1 丁目
 1667-103
 電 話 059-332-0523
 F A X 同 上
 (四日市支部)

診療所名変更

峰 正博先生 (伊賀)
 峰 啓介先生 (伊賀)
 峰歯科・矯正歯科クリニック

本会会員数 (12. 3 現在)	
一般会員 696名	勤務会員 24名
終身会員 129名	特別会員 3名
法人会員 5名	計 857名
日歯会員数 65,248名 (10. 31現在)	

新入会員 Profile

鈴木章夫先生 (四日市支部所属)

1. 学歴
 高校 暁中学高等学校
 大学 奥羽大学 (平成8年度卒業)
2. 卒業後の研修先・勤務先
 平成13年4月 かさど歯科医院
 平成15年4月 マサミ歯科クリニック
3. 家族構成 妻、長女、長男
4. 歯科医になった動機
 両親が歯科医であったため。
5. 大学の所属クラブ ラグビー部



6. 趣味
 読書、音楽、ネットサーフィン

7. 健康法

考えても仕方がないことは考えない。

8. 愛読書及び最近読んで興味があった本

臨濟録を最近読みましたが、分からない所も多いながらおもしろかったです。

9. うれしかったこと、悲しかったこと

200円の万年筆を使ってみて意外に日常使えてきたため、「やっと万年筆が使えるようになったか」とうれしいような、悲しいような感じです。

告 知 板

平成21年度 四日市歯科医師会障害者歯科学会開催のご案内

開催日時：平成22年2月14日（日）午後1時～3時

開催場所：四日市歯科医師会館3階大会議室

演 題：「認知症について」

講 師：市立四日市病院神経内科 家田俊明先生

<詳細問い合わせ先>

〒510-0093 四日市市本町9番12号 四日市歯科医師会事務局

TEL：059-354-8512 FAX：059-354-8513

尚、定員になり次第締め切らせて戴きますのでご了承ください。

平成21年度 四日市歯科医師会第2回学術学会開催のご案内

開催日時：平成22年2月20日（土）午後7時～9時

開催場所：四日市歯科医師会館3階大会議室

演 題：「口腔内科学的発想による歯周病治療とは」ーアジスロシンは有効なのかー

講 師：松本歯科大学歯科薬理学講座 王 宝禮教授

<詳細問い合わせ先>

〒510-0093 四日市市本町9番12号 四日市歯科医師会事務局

TEL：059-354-8512 FAX：059-354-8513

尚、定員になり次第締め切らせて戴きますのでご了承ください。

平成21年度第2回 伊勢地区学術講演会のお知らせ

開催日時：平成22年3月14日（日）午前9時30分～12時30分

開催場所：伊勢市福祉健康センター2F 伊勢市八日市場町13-1

演 題：包括的歯科治療のなかでどう生かす？－歯牙移動による歯周組織再生療法－

講 師：林 治幸先生（横浜市開業）

<詳細問い合わせ先>

〒516-0076 伊勢市八日市場町13-1 伊勢地区歯科医師会事務所

TEL：0596-24-1904 FAX：0596-27-3833

日本大学歯学部・松戸歯学部大学同窓会三重県支部 学術講演会のご案内

開催日時：平成22年3月14日（日）午後2時～3時30分

開催場所：津都ホテル

津市大門7-15 TEL：059-228-1111

演 題：「歯冠補綴とMI」

講 師：日本大学歯学部補綴学教室教授 松村英雄先生

会 費：無料

<詳細問い合わせ先>

〒517-0603 志摩市大王町波切1738-2 中井歯科医院 中井 久

TEL：0599-72-3188 FAX：0599-72-4227

“歯科経理帳”等斡旋販売について

ご希望の先生は当組合宛お申し込みください。

三重県歯科医師協同組合

歯科経理帳（12か月分）	900円
収支日計表（100枚綴）	600円
患者日計表（100枚綴）	600円
領収書（100枚綴）	450円

新春随想

上野幾郎

尾鷲支部

寅年の雑考

新春会報に年男の寄稿依頼があり、私には7回目の寅年であると知る。

昔から虎は百獣の王なりと威勢の良い縁起ものとして扱われて来たようです。新年こそは虎に因んで世界的不況を跳ね飛ばして欲しいものです。私は30年前、キリスト教に導かれ聖書を学んでいます。世界には様々な宗教書がありますが、聖書ほど文学、美術、建築、音楽等の文化に強い影響を及ぼしているものはないと思います。

日常生活で一週間を7日で区切り7日目の日曜日には仕事を休む習慣も、実は聖書の冒頭にある創世記に起源があります。現在、日本の元号は平成です。元号は時代の雰囲気を変現していて、昭和の時代は軍国主義、戦争、敗戦と国難時代でした。明治の男は頑固一徹だったとか固定イメージを醸し出すのに適している反面、不便さもあります。例えば昭和5年生まれの人今年で何歳になるのかとか、大正12年の関東大震災は今から何年



前の件だったのかも直ぐには計算出来難いものです。

西暦紀元は世界共通であり年数が続いているから大変便利です。聖書に書かれているイエス・キリストが生まれた年を紀元元年とし、西暦紀元にして紀元前をB.Cと、紀元後をA.Dという略記号にしています。誰もが知っている12月25日のクリスマスは、西暦紀元となったイエス・キリストの誕生日祝いで聖書から発している行事です。



家内・和子と

世界の国々の国旗も聖書やキリストに由来しているものが沢山あって、ギリシャ、イギリス、スイス、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、デンマーク、トンガの国旗には十字架が図案化されています。この十字架はキリストが世界中の全ての人間の罪（自己中心）を背負って贖ってくれた愛のしるしで、旗はキリスト教国家であると明確に宣言している訳です。フランスの国旗には十字架はありませんが、左から赤白青と縦縞の色彩

配列で自由、平等、博愛を象徴しています。この博愛こそは聖書が全巻を通して主張しているものです。

日本には古来から優美な文化が多々あり、将来へ大切に保存継承していくべきですが、世界平和時代を迎え外国との交流が益々盛んになる昨今、お互いの文化を理解尊重し合い、信仰の有無に関係なく聖書の一読を推奨する次第です。知識あれば興味も一入深まることと思います。

中道 薫

四日市支部

西国33カ所霊場巡り

息子が帰って来てくれたので、もっけの幸いと、予てより時間の余裕ができれば一度は巡ってみたかった西国33カ所霊場巡りを、家内と家内の妹夫婦の4人で挑戦いたしました。移動はマイカーで、ドライバーは妹の夫と私の2人、妹と家内は後席で専ら居眠り、目的地に到着すればハッスル……。

当世ではカーナビという便利なグッズがありますので、見ず知らずの地にもさほどストレスなく行くことができました。

1番札所的那智山青岸渡寺から順に満願の33番札所谷汲山華嚴寺までお札を納めるのが習わしとのこと。私達もそれに従って1番札所で軸と帳面等を求め、ご朱印を集めながらお参りのかたわらレジャーを楽しんでまいりました。

6か月余りの期間で33カ寺を回りましたので、一日に何カ寺かを掛け持ちし、大変忙しい霊場巡りとなりました。

お寺のご朱印ばかりに気をとられ、お参りもそこそこで次の霊場へと移動してお参りするということを繰り返していましたが、終盤になり神聖な

仏教行事をレジャーとご朱印軸のためだけでは厳しい意味で不敬に当たるのではないかと反省をし、般若心経262文字を写経納経して、ご朱印を頂く



ということといたしました。

お寺の大半は山深い山中にあり今日ではロープウェイ、迂回道でお寺の近くまで楽に運んでくれます。昔は険しい坂道を歩きながらお参りしたの

かとその信仰心の深さ、熱意に感動いたしました。無事満願を果たしご朱印軸を京都で表装して頂き、掛軸となり我が家の宝として代々大切に保存していきたいと思っています。

水谷忠司

桑員支部

還暦を前に思うこと

「えっ！もう還暦！？」この原稿依頼を受けた時の正直な思いである。大学を卒業してからの35年は慌ただしくも充実した年月だったと言える。結婚、開業と人生の基礎を築き邁進して来た。その毎日が診療という緊張の連続であり、常に若い世代のスタッフに囲まれ、自分の年齢を感じることなく過ごして来たのが実感である。とは言うものの当然、幼稚園の園服を着て治療に来ていた子が結婚し自分の子供を検診に連れて来たりすると、過ぎた歳月を思い知らされる今日この頃である。

幸いにもこんな風に老け込まずにこられたのは、まずは健康に恵まれたことであろう。これは何よりも丈夫な身体に産んでもらった親に感謝！そして毎日の食事に気を遣ってくれる妻に感謝！次に良くも悪くも私の多趣味なところであろう。その中でも特にテニス、ゴルフ、尺八の3つが私の心と身体のバランスを上手くとってくれていると、最近つくづく感じている。

テニスは大学入学と同時に硬式テニスクラブに入り、文字通り朝から晩まで白球を追いかけ、卒業後はクラブのコートでは飽き足らず自宅にテニスコートまで作り、家族や友人達とプレイを楽しんだ。コートで共に汗を流すことは若い先生達とのコミュニケーションにも大いに役立っている。

ゴルフも同じく大学入学当初から始めた。最初



は父の友人から手ほどきを受け、近所に住むプロからも指導を受け益々ゴルフの楽しさを知った。その後は仕事も忙しくスコアのことはあまり気にせずにいわゆる「付き合いゴルフ」になっていたが、6年程前に友人の紹介で中嶋常幸プロと出会い、親しくなった。年に2～3回桑名まで彼が出向いてくれて一緒にラウンドしたり、我が家で飲み交わすこともあり、少し忘れかけていたゴルフ

の真髄・魅力に再び目覚めた。プロのアドバイスもあって、クラブも買い換えシングルプレーヤーを目指すことになってしまった。そして58歳の誕生日にホームコースである涼仙ゴルフクラブで“遅まきのシングルプレーヤー”の認定を受けることができた。

尺八も同じく18歳の頃、“親戚の爺さん”に面白半分に教えてもらったのがきっかけとなり、独学で難しいと言われる「音出し」もこなし、何とか簡単な曲なら吹けるようになった。そんな25年程前、母校（愛知学院大学）へ研究に通っていた頃、いつも気になる看板“尺八教えます”が大学の近くにあり、思い切って門を叩いてみた。中から出てきたのは白髪の老人かと思いきや元気な体格のいい青年だった。聞けば私の高校の後輩であった。これが私の尺八の師匠「加藤条山」との出会いである。「加藤条山」は現在、日本の尺八演奏

家のトッププロである。尺八界では誰しも先生の教えを受けたいと願う程の大師範であるが、光栄にも私はその一番弟子である。その名に恥じぬようと一念発起して師範の免許を56歳で取得することになった。そして条山先生と邦楽アンサンブル“あまり風”という3人のグループを結成して、地元での演奏活動をしている。一昨年の12月には東京帝国ホテルのパーティーで演奏する機会に恵まれた。私的には最高の舞台上、演奏も満足のいくものであった。このことは私の勲章であり、今も精進を続ける糧となっている。

こうして振り返ってみると、仕事にしても趣味にしても多くの人との出会いが私を支え成長させてくれたと言える。還暦を前にして、今の私の心境を表す言葉は只々「感謝」の二文字である。96歳でまだまだ元気な父を前にしていると、これからの40年は少しずつ恩返しに時間を使うべきか……。

柿澤善樹

四日市支部

今年60のおじいさん

童謡「船頭さん」に「村の渡しの船頭さんは、今年60のおじいさん」の一節がある。「おじいさん」には「お爺さん」と「お祖父さん」があるが、ここでは「お爺さん」である。知人に30歳代で「お祖父さん」になった方がいる。



17年前、保険医協会理事会にて、最後の一分間発言で、伊勢市の内科開業医の先生が「私も60歳、還暦を迎えました」と発言された。当時、組織部

長として活躍していた方であり、現在でも医科組織部長としてバリバリ活躍されている。その時、「若く見えるのに、そんなに年寄りだったのか」と驚いた記憶がある。私も今年、その還暦である。自分では年寄りとは全く思っていない。「開業した30代から少し過ぎた」ぐらいの感覚である。17年前、何故60歳をそう思ったか分からない。幼い頃より、それぐらいの年齢の方の顔貌風体や仕種を見たり聞いたり、またその一つとしてこの童謡（実は、戦時歌謡らしい）があるかもしれない。

現在の65歳の方の体力は10年前の65歳の方よりアップしていると言われている。8020運動も、始

まった時は「そんな方はほとんどいない」と思っていたが、現在80歳で20本以上歯が残っている方は全体の一割いるようである。また、厚労省統計によると、現在、男性の平均寿命は約79歳で、60年前は約59.5歳であった。つまり60年前に生まれた方の平均寿命が59.5歳という意味である。乳幼児に死亡された方がいるのだろうが、私の同級生平均死亡年齢がそうだとは思えない。現在60歳の方の平均余命は約22.5歳で、60年前に60歳であった方のそれは約14.5歳である。この数字は納得できる。会社員の定年も以前は55歳だったが、現在は60歳で、暫時65歳になりつつある。老人クラブも60歳から加入可であるが、そのうち見直すのではないか。

高齢化社会と言われて久しい。2025年には2人の現役世代で1人の高齢者を支えることになるという統計があるが、ここでは生産年齢（現役世代）を15歳から65歳とし、高齢者を65歳以上としている。最近の青年は約半数が大学へ進学するので、この15歳からという統計は修正が必要であるように思う。「じゃあ70歳まで働くことにすればいいじゃないか」と考えるが、厚労省官僚は手拔かりがない。天下りばかり考えているわけではない。2025年、15歳から69歳を生産年齢とすると2.7人で70歳以上1人を支えることになるという数値

を示している。同じ生産年齢で75歳以上1人を支えるには3.6人という数字も推定している。さすがに74歳までを生産年齢とする数値は公表していない。ここで、「じゃあ75歳まで生産年齢にすれば」と個人的には言いたい。一般的にはどうかと思うが、歯科医師には十分可能なことである。70過ぎてても元気な方も多い。「支える内容」も検討すべきだ。どのような条件で、どの程度働く、診療するかである。働けるまで働けばいい。働けなくなるのは、視力など肉体的な障害を持つことになる場合もあるが、むしろ、気力の問題ではないか。相撲力士やプロ野球等の選手や小説家等でも同じではないか。その仕事にその時、どの程度意義を見るかどうかだ。年金と蓄えで旅行三昧もいだろう。「余生は与生」で「これからが本番」という意見もある。しかし、ずっと以前から本番だった。どのような状態であろうと、死ぬまで本番そのものだ。

40年前、私が学生だった頃、歯科医師の平均死亡年齢は他職業の方のそれより10歳近く低かった。私は愕然とした。現在はほとんど差がないようだ。

「若いゆえ戦い、老いても戦い」、「若さと和解、老いと戦い」、そして「古い・死と和解」。

24年後には、この欄に「古い・死との和解」と題した投稿をしたい。

長井俊彦

鈴鹿支部

森の時計は ゆっくり時間（とき）を刻む

次の世代に何を伝え、何を託さなければならぬのか真剣に考え行動しなければ、日本の未来はないのではないのでしょうか。身を美しくするという躰の大切さが叫ばれるようになって、それが壊

れてしまった家庭とそうでない家庭とで育てられた人々が今の日本の社会を構成しています。“国家百年の計は教育にあり”と言われ、その戦後の集大成が、日本の将来を憂う事態になってしまっ

新春随想

2010

たことに一人の人間として大変残念に感じています。

21世紀は個と公の調和の時代だと言われていています。自分が今ここに立っているのか、どこに向かおうとしているのか、そして個としてちゃんと自立しているのか、その礎となる人格はきちんとしているのか。また公の倫理感をもって社会と協和できる公共心と道徳観を持ち合わせているのか、そんなことが問われています。

二人の子供を授かり、子育ての中から子供を通じた目線で、また年老いていく両親をみながらも健在であることの感謝の気持ち、その10歳ぐらいの子供の目線から70歳を過ぎた大人の目線を通じて、今生きることの大切さと世代を超えた優しさの人間の幅を感じています。

ところで十数年前、脚本家の倉本聰さんとお会いして食事を一緒にさせて戴いたことがあり、お酒もまわって言われた言葉があります。座右の銘ではないけれども“森の時計はゆっくり時間（とき）を刻む”。48歳という年齢を迎える私にとって、この頃この言葉が気になるようになっていきます。私達を取り囲む環境が、思考の座標軸をとて



つもないスピードの時間軸に急き立てられていることへの恐怖と未来への不安をこの言葉の裏側に感じるからです。そのためには焦燥感と不安感を克服する術を会得しなければなりません。

生きるための5つの条件というのがあります。10代までに健康な身体をつくり、20代までに社会のルールをしっかりと守ることを自覚し、30代までに誇れるちゃんとした仕事に就き、40代までに家族を守ることの基礎を築き、50代までに世のため人のために尽くすことができる人間になれることが生きていくために必要なことだと言われています。

世のため人のためになれる人間として、社会に貢献できる人間として、一人の人格を持った社会人として何ができるのか、しっかり時間（とき）を刻んでいきたいものです。改めて座標軸をきちんと持った大人として、細胞ひとつひとつが健全に機能していれば、その集合体である骨格と体はまさしく健康に機能するように、家庭、職場、団体、組織、地域、自治体、国家も健全に機能するものと信じてやみません。

次の12年後のためにも大切な時間を社会という森に求め、一步踏み出していこうと考えています。人生の森（フォレスト）という理想郷（ユートピア）を求めて、子を持つ親の世代として、次世代を担う人材育成を果たしつつ、社会との相対性と個と公の調和をめざし、同じ時代に生きるすべての仲間達に感謝し前進していこうではありませんか！

合掌



西尾佐和子

津支部

「年女」のひとりごと

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

「年女」の原稿と言われ、正直少し不機嫌になりました。12、24、36・・・12の倍数はごまかせません。残酷な依頼です。トシオンナ・年女・年増、、とも聞こえてしまう程ひがみっぽくなった今日この頃なのです。

そんな私も、三重県歯科医師会に入会して早くも14年が経ちました。入会当初は、休日といえばスポーツ・旅行・食事会などなど、家にじっとしていることなどめったにありませんでしたが、ここ数年は休日はもっぱら家で過ごすことが多くなりました。お気に入りのヨーヨー・マを聴きながら家庭菜園で収穫した野菜を使ってオリジナル料理を開発するのが一番の至福の時であります・・・と、というような大人な女性になるのが夢でしたが、実際はというと、確実な老化を感じながらも落ち着きのない日々を過ごす“痛い”おばさんです。

しかし、そんな成長のない生活の中で、救いは津支部の執行部の仕事に微力ながらも参加させていただいたことです。忙しい中、自分の時間を割いて会員のために必死で取り組む会長をはじめとする各理事の先生の姿を目の当たりにし、自分の事で精いっぱい自分が恥ずかしくなりました。会務に携わるということは、私にとって「異文化コミュニケーション」みたいなものでありました。しかし、考え方が少しずつ社会性を増してきたように自負しております。といっても、まだまだ足を引っ張るばかりで役立たずな理事なのですが、楽しい思い出も沢山できました。

台湾への支部旅行では、変身写真館でプロのへ



アメイクさんにメイクしてもらって、オリジナル写真集も作りました。プロのカメラマンでの初めてのモデル体験です。匠の技には感無量、「美しい人はより美しく、そうでない方は・・・」そんなコマーシャルを思い出します。何回目の「年女」か分かってしまいますね。わざわざ、このために台湾まで出かける方がいるくらいの人気のコースだそうです。

何はともあれ、独りよがりな人生まっしぐらな私を更生の場に導いてくださった先生方には心より感謝いたしております。歯科医師会で養った社会性を今後の生活に役立てるとともに、豊かな老後を迎えたいと考えております。めざすはサクセスフルエイジング！

年増のひとりごとでした。

岡部路弘

四日市支部

マスターズ

去る9月20日、静岡で『日本スポーツマスターズ2009富士山静岡大会』が行われました。私はバスケットボール競技の部門で三重県代表チームのメンバーとして参加させていただきました。

中学の時に背を伸ばしたい思いでバスケット部に入ったのが始まりでした。中学3年間、高校3年間、大学6年間とバスケットに打ち込み、歯科医師になってからも社会人のチームに所属して20数年続けています。学生の頃の楽しかったこと辛かったことは今でも鮮明に思い出せます。中学、高校のクラブは人生の中で大変大きな存在になりましたし、高校3年間のクラブはとて濃厚なものでした。しかし今となってみるとたかが3年です。

スポーツをする時間としては社会人になってからの方が断然長く、アマチュアスポーツに引退はないとよく言いますが、20年を超えた今、本当にそう思います。現在所属しているチームに入ったのは27歳の頃で、当時は一番若かったのですが、今は当然のことではありますが、一番の年配となってしまいました。

中学、高校の時には「もうやめよう」「やめたい」と何度も考えましたが、社会人になってからはほとんど考えたことはありません。今のメンバーは26歳の若者から47歳の私まで幅広い年齢層での集まりで、この年で皆についていくためにとできるだけのことは自分なりに頑張ったり努力しています。しかし、それだけではこんなに頑張れなかったと思います。私にとってかけがえのないメンバー、三重県下のバスケットボール協会の方々、他チームのたくさんの選手の人たち、といった果



てしない人との繋がりが、私にパワーを与え続けてくれていると思っています。バスケットボールに深く感謝です。

また、うちのチームでは、年間8回のバスケットボールのトーナメントへの参加の他にゴルフ部門、登山部門、スポーツ観戦、マラソン、宴会と一年を通してさまざまな活動をしています。これらも私にとってかけがえのないメンバーとの交流になっています。勝つだけのためのスポーツではなく、スポーツを通してたくさんの人と関わりを持ち楽しむ。これがスポーツの本来のあり方なのではないかと思えます。

今年、高校を卒業する我が家の息子にもこの素晴らしさを分かって欲しく、スポーツ人生はこれからだぞと教えています。

静岡でのマスターズには全国からこのような考えを持った人たちがたくさん集まって、お祭りのような試合になるのだろうと楽しみにして行きましたが、皆が同じ考えではなく本気モードの選手が多く、そんな埼玉県代表に一回戦で簡単にやられてしまいました。

2010年は三重県でマスターズが開かれるので、その時もメンバーに選ばれるように頑張り続けた

と思っています。

遠藤直樹

伊賀支部

リビアにもあった「たらい回し」

私の趣味は天文である。というか、ある意味「天文旅行」と言った方が良いのかもしれない。

この12年間、私は皆既日食の観測のため5回海外へ行っている。渡航先は、イラン、ザンビア、リビア、中国新疆ウイグル自治区等いずれも辺境の地である。また、日本では見られない南天の星座や星雲を撮影するため、オーストラリア内陸部の乾燥地帯に6回、そして、ハワイ島マウナケア山頂4200mにある国立天文台すばる望遠鏡の見学にも行って来た。つまりほぼ年1回のペースで天文に関係のある海外旅行をしていることになる。

旅にはアクシデントが付き物？である。これだけ回数が多くなると色んなことがあった。同行していた友人のレンタカーがオーストラリアの平原で横転、走行不能になったり、パスポート、お金、カード等貴重品一切の入ったカバンを田舎町のマクドナルドに置き忘れたり、いずれもオーストラリアの人達の温かいフレンドシップのおかげで事なきを得た。また同じツアーの人が帰りの飛行機の中で体調を崩し、その方の乗ったストレッチャーに付き添って乗務員乗降口から成田の医務室へ入国審査も通らずに直行。後で空港の職員に入国スタンプだけを押ししてもらったり、これも帰国便の中で酔っばらって転倒し、座席の手すりです顎を強打し、下顎骨骨折、口唇裂傷を負った方の応急処置をしたこともあった。その中でも一番印象深いのは、2006年に深夜のトリポリ市内を救急車



ダイヤモンドリング



リビア・レプティス・マグナの遺跡にて

でさまよったことである。

夜遅くに、リビアの首都トリポリのホテルに到着し、ホッとしていると、部屋電話が鳴る。同行の岡山県の医師・出宮美克氏からであった。この出宮先生、大正11年生まれで84歳(当時)だが大変

お元気で、1999年のイラン日食で知り合ってから以来、たびたび日食旅行にご一緒させてもらっている。

「同室のKさんの容体がおかしいんじゃない。すぐに来てくれんか」とのこと。慌てて部屋に駆け付けるとK氏がベッドに横たわっており、極端に血圧が低下しているのか、ほとんど脈が触れない。出宮先生によると、K氏は昨日よりひどい下痢で脱水症状が進み血圧が低下している。しかしそれより心配なのは、K氏は心筋梗塞の既往があり、ステントも入れている。状況から見て、また新たな梗塞が起こっていることが懸念されるということ。早急に添乗員に説明、救急車を呼んでもらった。

しかし最初に救急車が向かった先は、きれいとは言えない小さな病院で、病床がいっぱいということで断られた。2軒も同様であった。リビアにも「たらい回し」はあったのだ！さあ困った。す

ると添乗員氏、カバンから日本製の高級（そうに見える）時計を取り出し、救急車の消防士達に渡している。ワイロだ！！救急車はスピードを上げて次の病院に向かう。今度は、大きくきれいな病院で設備も整っている。担当のドクターも永らくイギリスに留学していたそうで流暢な英語を話す。これなら大丈夫そうだ。応急処置を終え、病室へ入るのを見届けて帰ろうとすると、なんとさっきの消防士君が玄関で私達を待っていてくれているではないか。「あんたら次の仕事行かんでもええの？」とツッコミたかったが、ここは深夜のトリポリ市内、大変助かった。ホテル到着後、消防士君達は添乗員氏から、もう一つ時計をもらっていたのと言うまでもない。Kさんはやはり新たな梗塞が生じていたようだが、適切な処置のおかげで3週間後には無事帰国された。

猪股雅之

津支部

私とラグビー

48歳、年男という一つの節目において、自分の人生の中で長い時間を過ごしているラグビーについて振り返ってみたい。

私のラグビー史の始まりは高校からである。入部のきっかけはよく覚えていないが、なんとなくだったような気がする。体と体のぶつかり合い、タックルで相手を倒した時の快感にすっかりのめり込んでしまった。たいして強い高校ではなかったが3年の春、当時の二強の一つであった志摩高校に勝利したのが思い出である。

大学ではどこでもそうであると思うが、先輩の激しい勧誘（飲み会の連続）もあり入部となった。医歯薬系と少々甘く見ていたのだが、あまりにも



練習と先輩が厳しく、ひたすら早くOBになりたいと願ったものだった。しかし今思うと、ここには書ききれないほど多くのことを学び、そして得たことに感謝しきりである。大学においては関東医歯薬リーグ1部優勝が思い出である。

かくして卒業と同時にラグビーとおさらばしたはずであった。

月日は流れ地元に戻り開業1年目のことであった。「社会人チームを作ったので試合観に来いよ」1年上の先輩からの電話、当時と変わらぬ軽いノリである。見学だけのつもりで出掛けたが、気がつけば試合に出てしまっていた。バカである。かくして再びラグビーと関わってしまったのである。31歳の再スタートであったが、5～6年続けたで

あろうか、体力の衰えとともに自然に遠ざかっていった。

再び月日は流れ、6年前のOB会でのことである。後輩が母校に赴任し、ラグビー部を10数年ぶりに復活させたとのこと。「先輩、練習見に来てくださいよ」運動不足解消のためと、またしても軽い気持ちで行ってしまったのが再々スタートであった。本当にバカである。

かくして現在に至っているわけであるが、昨年新たなるスタートが切られてしまったのである。ずっと野球をやっていた愚息が後輩となり、ラグビー部へ入部してしまったのである。まったくの想定外であった。いつまで続くのだろうか、我がラグビーバカ人生。

濱口陸太

伊勢度会支部

新年の挨拶

新年あけましておめでとうございます。

岩手医大歯学部卒業後6年間大阪で過ごし、地元伊勢にて父の下で勤務して6年目の年となりました。

その間、4歳になる息子の開翔、1歳の娘の彩衣と2人の子宝にも恵まれ、沢山の方々に支えられ充実した日々を送ることができ感謝しております。

また、趣味のゴルフは月に1～2回プレイする機会に恵まれ、優れたゴルファーとの出会いもありました。



仕事もゴルフも一期一会の気持ちを忘れず飛躍できるよう努力し、笑いの絶えない家庭を築いていきたいと思えます。

どうぞ皆様、本年もご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



中野雅也

桑員支部

野球を通じた交流

私は愛知学院大学を平成10年に卒業後、東大阪の本多歯科医院、尼崎のウカイ歯科を経て、津の佐藤歯科医院にお世話になりました。平成18年3月に地元桑名に戻り、改装した診療所で父と共に診療を始めました。

以前より父が入部していた県歯の野球部の東海



大会などに参加していたので多数の先生と面識があり、入会後もいろいろな場所で出会う野球部の先生たちのおかげで、スムーズに様々な事業に参加することができました。

桑員以外のいろいろな支部の先生たちと知り合い、新たに多くの交友関係を築けるのはありがたいことです。これからも支部はもちろん、他の支部の先生方と交流を持ちながら、歯科医師会での活動を有意義なものにしていきたいと思ひます。

編集後記

広報編集委員になって2期目となりました。その間に厄年を迎え、もうすぐ後厄が明けようとしています。厄年は陰陽道が由来の風習で、一般的にこの年頃は精神的にも肉体的にも変化が起こりやすく、人生の節目とも言われますが、民俗学的には「役年」の意味合いがあるそうです。ある年齢になると神社やお寺で「役」に就く習慣からです。

「役」になると、それなりに身を清め、行いを慎む必要があります。その「役」を終えることに

より、一人前の社会人として周囲の人から認められたそうです。厄年を「役年」とすることで、「役」に就いた人に様々な制約を与え、「厄」から逃れていたのです。

私も、この広報編集委員の「役」を無事終えることで厄年を乗り切り、今後の人生を健康で過ごしていけたらと思ひます。寒い日が続く時節柄、皆様もどうか御身大切にお過ごし下さい。

(広報編集委員・杉山拓紀 記)